

黒ボク土ハウスモモ幼木園での高品質果実生産のための土壌管理および施肥法						
[要約] 黒ボク土のハウスモモ幼木では、敷きわらにより根を表層に集めることができる。また、徒長枝の割合を減らす一つの方法として、礼肥の削減も効果的である。						
果樹試験場・施肥改善科	専門	土壌肥料	対象	果樹類	分類	指 導
資料名：平成 9、10、11 年度果樹試験場業務報告						

[背景・ねらい]

雲仙普賢岳の噴火に伴う災害復興で整備された圃場では、ハウスモモが盛んに導入されたが、ハウスモモを導入する圃場の土壌の実態を調査すると、様々な問題点が明らかになった。その中でも黒ボク土が厚く充填された圃場では、根域が広くなり、保水性も高く、枝の過繁茂による収量、品質の低下が懸念された。そこで、黒ボク土層の深い圃場でハウスモモの高品質果実を安定生産するための土壌管理法を明らかにした。

[成果の内容・特徴]

黒ボク土層の深い圃場でも、敷きわらを施すことでハウスモモ‘日川白鳳’の細根を表層に集めることができる(表1)。

礼肥の施用量を削減することで、徒長枝(特大枝)の割合を減らすことができる(表2、図1)。

礼肥を省略しても、土壌中の無機態窒素、葉中窒素に大きな違いは見られない(表2)。

[成果の活用面・留意点]

黒ボク土に植栽されたハウスモモで、徒長枝の割合を減らす一つの方法として活用できる。

礼肥の削減量は、土層の深さおよび地力窒素供給力の違いにより加減する。

[具体的データ]

施肥法試験での施肥量²

処理区名	窒素分施割合(%、合計は N・Kg/10a・4 年生樹)				年合計
	礼肥	基肥()	基肥()	玉肥	
礼肥省略区	0	37	50	13	6.0
2割減肥区	20	30	40	10	4.8
慣行施肥区	20	30	40	10	6.0
施肥の時期	6/下	9/中	10/下	2/中	

² 肥料は礼肥，玉肥がリン硝安カリ，基肥がハウスビワ配合。

表 1 敷きわら処理が深さ別細根量に及ぼす影響² (1998.10.30)

処理区名	深さ別細根量(g/9 l)			
	0 ~ 10cm	10 ~ 20cm	20 ~ 30cm	合計
敷きわら区	2.18	1.39	1.10	4.67
無処理区	0.62	0.93	1.04	2.59

² 調査は 2 連で、樹幹から南東側 1m の位置を 30 × 30cm の広さを深さ別に掘りあげて行った。

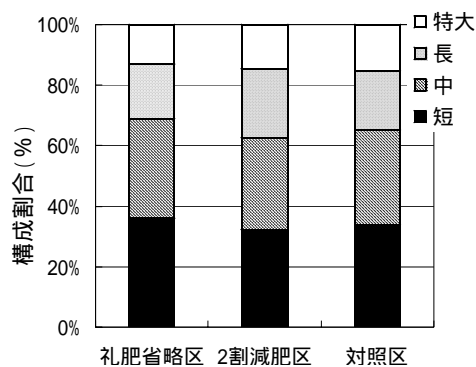


図 1 枝の長さ別割合

表 2 果実収量、品質および葉中窒素 (1999)

処理区名	着果数 (個/樹)	果実重 (g/個)	着色程度	葉中窒素(%)	
				5月28日	9月22日
礼肥省略区	107	154	6.72	2.86	2.51
2割減肥区	92	144	6.42	2.80	2.60
慣行施肥区	85	146	6.44	2.95	2.59

研究課題名：雲仙普賢岳噴火後の基盤整備圃場における果樹園の早期復興対策

予算区分：県単

研究期間：平成 11 年度 (平成 8 ~ 11 年)

研究担当者：藤山正史、井手勉、宮路崇生